

に初めて製作したというSF映画は長いこと所在不明であつたのだが、市内で多くの8mmフィルムを発掘するこの過程で発見されたという。当時カメラもフィルムもそして映写機も高価であったから、所有する人も限られたが、新しもの好きで裕福だった商店主による記録も多く、路面電車が映り込む松本駅前や、松本城周辺にかけての中心市

も学校の授業や金融機関の営業が昼まであって、祝日も今よりずっと少なかつたから観光旅行の機会も少なく、観光客も観光客相手の商売も今ほど多くはなかつた。

その後国鉄・JRの日本再発見のキャンペーンやマイカーの普及に伴い、長野県も松本も観光地化していく。令和の今となつては世界中から多くの観光客が訪れるまで

ビデオカメラが登場する以前の昭和の半ば、必ずしも普及したとは言い難い8mmカメラにより、市民が撮影した松本の8mmフィルムを発掘し、つなぎ合わせた昭和の松本の記録映像中、心の作品であつた。先月まで美術館で企画展が開催されていた映画監督の山崎貴さんが、中学時代

先日、「まつもと日和」という地域映画を鑑賞する機会

街地の懐かしい映像を満喫することができた。

# 店主のつぶやき

新七ヶ島  
街の新陳代謝



令和5年11月1日現在  
世帯数 : 855世帯  
人口 : 1513人  
男 : 722人  
女 : 791人

になつたが、新博物館の開館や松本城周辺の整備により、この流れはますます加速していくだろう。

一方で平成以降、物販の主流は店舗販売からアマゾン・楽天、アスクルといった通信販売に移ってきたので、それに合わせて商店街の構成も、飲食店や観光関係、対人サービス店舗が中心となりつつある。小売店が飲食店を併設したり、食品販売の新規事業を始めたり、店構えはそのままでも、中身は進化している。

ほんの半世紀で、気が付かないうちに随分と変化したものである。生き残るのは、強いものでも賢いものでもなく、変化に対応できるものだという。松本の進化は止まらない。



# Presented by 視聽覺委員會

# まちかどフォト 第一地区の夏



# セイジ・オザワ松本フェスティバル 吹奏楽パレード

松本サマーフェスト



Mウイング4階の第一地区福祉ひろばでは10月から2月の毎月第4月曜日10時から、岩原勲さん（90・埋橋2）を講師に、全5回の切り絵教室を開いています。初回の10月23日月曜日は、女性5人が参加してアユが川を泳ぐ様子の切り絵を作りました。

ひろば利用者の、切り絵をやつてみたいという提案から企画し、1回の講座で1作品作成するなど、細かい部分に神経を使い、時には講師の手助けを受けながら、集中して作品を作っていました。

講師の岩原さんは、もともと第三地区のひろばで12年間切り絵に親しみ、今では人に教えるほどの腕前になりました。「色を重ねて切り終わって、下絵をはがすときのわくわく感が大きいご味」と切り絵の魅力を話していました。

参加した伊藤昭子さん（本庄1）は「見本にあつたフェルメール調の切り絵を見て、すてきだな」と思い参加した。細かいところが大変で、ちょっと雑になってしまつたところもあって笑顔を見せてい

ます。切り絵用のカッターと下敷きは持つていなければ注文して購入することもできるので、時間内に終わらなければ、自宅に持ち帰って作業す

ることができます。参加者は、アユの尾びれの部分や、川の流れを表す曲線など、細かい部分に神経を使い、時には講師の手助けを受けながら、集中して作品を作っていました。

講師の岩原さんは、もともと第三地区のひろばで12年間切り絵に親しみ、今では人に教えるほどの腕前になりました。「色を重ねて切り終わって、下絵をはがすときのわくわく感が大きいご味」と切り絵の魅力を話していました。

ひろばコーディネーターの松本裕美子さん、滝口知美さんは「ひろばは、地域の方々の集いの場。年齢問わず多くの方が参加しています。ひろばコーディネーターの松本裕美子さん、滝口知美さんは「ひろばは、地域の方々の集いの場。年齢問わず多くの方々に利用していただきたい。切り絵教室は、今からでもお申込みいただけるので、興味のある方はお問い合わせください」などと話しています。福祉ひろばへのお問い合わせは（TEL39・1173）まで



繊細に作られた切り絵作品（講師作）



切り絵に真剣に取り組む参加者の皆さん

## 第二地区福祉ひろば 切り絵教室

を仕上げることを目標に、各

生きがいづくりを目的に市が運営するもので、地区ごとに様々な事業を展開しています。第一地区福祉ひろばでは、ハンドメイド講座や健康講座などたくさんの講座を企画、サークル活動も盛んで、多く

の方々が参加しています。

ひろばコーディネーターの松本裕美子さん、滝口知美さんは「ひろばは、地域の方々の集いの場。年齢問わず多くの方々に利用していただきたい。切り絵教室は、今からでもお申込みいただけるので、興味のある方はお問い合わせください」などと話しています。福祉ひろばへのお問い合わせは（TEL39・1173）まで

## 電車通り

今年のプロ野球はセ・リーグの阪神とパ・リーグのオリックス関西球団同士が激突し、阪神が38年ぶりに日本一となりました。ところで、横浜DeNAで松本第一高出身の牧秀悟内野手が打点王と最多安打の2大タイトルを獲得しました。信州人にとって大変嬉しく、特に打点王は1938年に松本市中山出身の故中島治康氏が獲得して以来の快挙です。

中島氏は松本商業（現在松商学園）時代、1928年の第14回全国中等学校野球大会にてエースで4番打者として活躍し、見事全国制覇しています。その後プロ野球草創期の現巨人軍に入団し、外野手で4番打者として活躍しました。特に1938年には日本初の3冠王になり、打撃王の名を高め最高殊勲選手にも選ばれました。その後は選手兼監督になり、優勝もしています。また強肩で俊足で、しばしばライト手前に飛んだ打球をライトゴロに通算20回仕留めています。タイトルは首位打者2回、本塁打王2回、打点王4回を獲得し、野球殿堂入りを果たしています。以上、昔の偉大な名選手、中島氏を懐古しました。